

Activity1 practice 用のゲーム（ダイアログを慣れ親しませるためのゲーム）

※ゲーム上の注意

回すことだけに注意がいけないように、できていなければゲームを止める
正しく言えない場合、練習をさらにする必要がある。
ある程度 practice 出来るようになってからではないといけない。

(1) バクダンゲーム

ダイアログの慣れ★★

必要な物：音楽 CD、ボールや紅白玉

全員、グループ

CD を流し必要ダイアログを言わせ、ものを回す。

当たった子には全員から質問を受けさせ答える等をする。

(2) ○○バスケット

ダイアログの慣れ★

必要な物：なし

全員

機械的に単語を割り振る。

フルーツバスケット形式で、鬼の子に全員で Q をし、鬼の子が A をする。

当てはまる子は逃げる。

(3) ○分間じゃんけんゲーム

ダイアログの慣れ★★★

必要な物：カード（一人5枚）

全員

カードを一人5枚渡す。

会話をさせ、じゃんけん。

勝ったら1枚もらい、負けたら1枚あげる。

何枚カードをとれるかのゲーム。

(4) タワーチャレンジゲーム

ダイアログの慣れ★★

必要な物：タワーチャレンジカード

全員

会話をして、カードの数字に○をつける。

クリアしたら教師にチェックしてもらい、教師と会話をする。

自席に戻り、アルファベットや数字をなぞる。

(5) ビンゴゲーム

ダイアログの慣れ★～★★★★

必要な物：ビンゴカード

全員

様々なやり方がある。

例) 一人に聞いて答えさせる(慣れ★)、一人ずつ会話をさせビンゴさせる(慣れ★★★★)

(6) ラインゲーム

ダイアログの慣れ★

必要な物：ストップウォッチ

全員、グループ

制限時間内でグループで正しく言ってクリアできるか協力する伝言ゲーム。

クラス全員で行ってもかまわない。

(7) クロリスクロスゲーム

ダイアログの慣れ★

必要な物：なし

縦1列の生徒全員を立たせます。

「今から英語で質問しますから、分かった人は手を挙げて答えよう」と言って“What is your name?”“Where do you live?”などのだれでも答えられる問題から、

授業での復習事項まで、ありとあらゆる質問を出します。

一番早く手を挙げた生徒が答えられたら座ってよし。そして次の問題、となります。

その列で最後まで立っていた人を含む、今度は横1列の生徒が全員立ち、ゲームを進めます。

このように、縦横縦横の列で答えさせます。

難易度は生徒にあわせてでき、生徒は必死になって問題を聴きます。

(8) カルタでダイアログ練習

ダイアログの慣れ★★

必要な物：単語カード

子どもに全員でQを言わせる。

教師がその答えを言い、そのカードをとる。

例) 子: What do you want? T: I want an apple. 子: カードをとる

(9) タイムチャレンジ

ダイアログの慣れ★★★

必要な物: 時計

ペアで、ダイアログを一通り言わせる。

〇秒以内、という制約を設ける。

例) Aさん: What do you want? Bさん: I want an apple.

What do you want? Bさん: I want a banana.

...

Bさん: What do you want? Aさん: I want an apple.

What do you want? Aさん: I want a banana.

...

(10) キャッチゲーム

ダイアログの慣れ★

必要な物: 時計

二人組で対戦。

子どもに全員でQを言わせる。

教師がその答えを言い、キーワードがでたら消しゴムをとる。

例) 子: What do you want? T: I want an apple. 子: 消しゴムをとる

(11) デスティニーゲーム

ダイアログの慣れ★★★

必要な物: 単語カード

二人組で行う。

カードをシャッフルして集め、真ん中に置く。

片方がQ。もう片方がめくってそのカードでA。

きちんと答えられたらそのカードをゲット。